

## 第29回広島県障害者卓球大会（知的障害者・精神障害者の部）

### 実施要項

- 1 目的 卓球大会を通じて参加者との交流を図り、スポーツへの興味、関心を高めるとともに、障害者スポーツの普及に努める。
- 2 主催 広島県立総合リハビリテーションセンター スポーツ交流センター
- 3 共催 公益社団法人広島県パラスポーツ協会
- 4 後援  
(予定) 一般社団法人広島県卓球協会、広島県知的障害者福祉協会、  
一般社団法人広島県手をつなぐ育成会、公益社団法人広島県精神保健福祉家族会連合会、  
一般社団法人広島県精神保健福祉協会、社会福祉法人東広島市社会福祉協議会、  
東広島市教育委員会
- 5 協力  
(予定) 一般社団法人広島県卓球協会、おりづるサポーター、公認パラスポーツ指導者
- 6 日時 令和6年10月20日（日）  
選手受付・・・・・・ 9：00～9：45  
開会式・・・・・・ 9：45～  
競技開始・・・・・・ 10：00～  
閉会式・・・・・・ 15：30（予定）
- 7 会場 スポーツ交流センター アリーナ  
〒739 - 0036 東広島市西条町田口 295-3  
TEL：082-425-6800 FAX：082-425-6789
- 8 競技種目 一般卓球・個人戦（男女別、年齢区分別）  
① 知的障害者の部  
（男女別）少年（19歳以下） 青年（20～35歳） 壮年（36歳以上）  
② 精神障害者の部  
（男女別）
- 9 競技方法 ・原則としてリーグ戦（男女別、障害区分別、年齢区分別〈知的障害〉）により予選  
を行い、上位者で決勝トーナメント戦を行う。  
・3位決定戦は行わない。  
・5ゲームマッチ（3ゲーム先取）/1ゲーム11点とする。  
・使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球とする。  
・組み合わせは原則として同じ障害区分・年齢区分・同性同士とするが、参加人数  
により異なる障害区分、年齢区分、異性選手との組み合わせになることがある。
- 10 競技規則 令和6年度全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

- 11 表彰 障害区分別，男女別，年齢区分別（知的障害）の各1位～3位までに賞状とメダルを授与する。
- 12 参加資格 療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を所持している中学生以上の人で広島県内に在住する人。  
（ただし、全国障害者スポーツ大会選考対象者は令和7年4月1日現在で13歳以上の人）
- 13 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、**令和6年9月25日（水）必着**までにスポーツ交流センターに持参するか、FAX・Eメール・郵送（必着）で申し込む。申込用紙はホームページからダウンロードすることができる。（FAX・Eメール・郵送の場合は必ず電話にて着信の確認を行うこと。）

【申し込み・お問い合わせ】

<p style="text-align: center;"><b>スポーツ交流センター・おりづる</b></p> <p style="text-align: center;">〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3</p> <p style="text-align: center;">[TEL] 082-425-6800 [FAX] 082-425-6789</p> <p style="text-align: center;">[E-mail] oridsuru@hiroshima-wsc.jp</p> <p style="text-align: center;">[ホームページ] <a href="http://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/">http://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/</a></p> <p style="text-align: center;">担当：深谷・岡本・鈴木</p>
--

- 14 留意事項
- ・本大会は、第24回全国障害者スポーツ大会（わたSHIGA輝く障スポ大会）の広島県選手団の選手選考を兼ねるものとする。ただし、広島市在住者は選考の対象から除く。（広島市在住者は広島市選手団となるため本大会においては選考対象外となるが、広島市在住者であっても広島市以外に通学、通所、入所している場合は選考対象となる。）
  - ・主催者においては、応急処置しかできないので、参加にあたっては自己の責任において健康と安全に十分留意すること。
  - ・受付時間は9:00～9:45までとし、時間厳守とする。受付を済ませていない場合は棄権とみなす場合がある。
  - ・ラケットの貸し出しは行わないので、各自で用意すること。
- ※ラケットの本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。
- ・ゼッケンは各自で必ず用意すること。試合開始時に審判員が確認する。
- ※大きさは任意。背中につける。（例）

ふりがな
氏名

- ・車で来場される方は、スポーツ交流センターの職員駐車場を使用すること。  
(車いす専用駐車場はドライバーが車いすの方のみ利用可)
- ・昼食は各自用意すること。(リハセンターの食堂は土日祝が定休日)
- ・競技中のフラッシュ撮影は禁止とする。
- ・貴重品は各自で管理すること。
- ・FAX・Eメール・郵送で申し込みをした場合は必ず電話で着信確認を行うこと。着信確認を行わず、エントリーできていない場合は大会に出場できない。
- ・大会プログラム、大会報告書、スポーツ交流センター機関誌、公式 SNS 等に、障害区分名、年齢区分、氏名、競技中の写真等を掲載する場合がある。あらかじめ了承のうえ、申し込むこと。
- ・基本的な感染対策は引き続き継続して行うこと。(咳エチケット等)

- 15 申合せ事項
- ・原則として、競技は同じ障害区分・年齢区分・同性同士とするが、各区分の参加人数により異なる障害区分、年齢区分、異性選手との組み合わせとなる場合がある。ただし、表彰は障害区分ごとに行う。
  - ・各障害区分の参加人数によっては、トーナメント戦を行わず、リーグ戦のみで順位を決定する場合がある。
  - ・ユニフォームは公益財団法人日本卓球協会が公認したマークの付いたものでなければならないが、本大会においては競技用シャツ(袖・襟を除く)、ショーツまたはスカートの主たる色は使用するボールの色と明らかに違う色のものを着用すれば、公認のものでなくとも構わない。ただし、白以外のものを着用すること。